



激しい雷を伴うこともある豪雨



急傾斜地の崩落



道路の破損



ビニールハウスの倒壊

特集

豪雨災害に備える

新型コロナウイルス感染症が全国的に広がりを見せる中、豪雨や台風への備えが必要な季節となりました。こうした状況下で自然災害が発生した場合、人の密集する避難先での感染爆発といった「複合災害」への注意も必要です。

地

球温暖化を原因とする、降水量の増加や海水温の上昇などで、年々豪

雨や台風などの自然災害が多発しています。今年7月上旬に九州地方を襲った記録的豪雨では、熊本県南部の球磨川が氾濫するなど大きな被害が発生しました。昭和村においては、昨年10月の台風19号で、村で初めての避難勧告を発令。12か所の避難所が開設され、35人が避難しています。幸い人的被害はなかったものの、崖の崩落や道路の破損、畑の流出をはじめ、農作物にも被害が出ています。

突然起こる災害に対して、被害を最小限に抑え、私たちの生命や財産を守るためには、日頃の備えや避難行動の確認が大切です。

心配される「コロナと災害」

また、現在は新型コロナウイルス感染症が世界的にまん延し、日本国内でも感染者が累計で4万人、死者が1千人を超えるなど、深刻な状況が続いています。豪雨や台風などによる災害が心配される季節を迎える現状下、自然災害が発生することで起こる「複合災害」にも注意しなければなりません。特に危惧されているのが、人の密集する避難所での「感染爆発」です。この複合災害に向けた備えも

1 警戒レベル(避難のタイミング)

警戒レベル	気象庁等の発表	避難情報・とるべき行動
5	大雨特別警報 氾濫発生情報	災害発生情報 すでに災害が発生、命を守る行動が必要。
4	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報	避難勧告／避難指示 災害発生の危険度が非常に高い状況。 危険な場所から全員避難
3	大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報	避難準備・高齢者等避難開始 身の危険を感じたら自発的に避難を開始。 避難に時間がかかる方は避難 高齢者の方、介助が必要な方、病気のある方、赤ちゃんや子ども、妊婦の方、障がいのある方など
2	大雨警報 洪水警報 氾濫注意情報	避難行動の確認
1	早期注意情報	災害への心構えを高める

昭和村が発令

求められます。
前もって準備できる「備え」
大雨によってたらされる災害では、天気予報などで、ある程度予測することができます。事前に大雨が降るとわかっていれば、避難する際に必要なものを事前に準備したり、水害や土砂災害に備えてどういった行動が必要なのかを確認し、あらかじめ対策をとることができます。
まずは、避難する場所の確認や

7ページ下で紹介する非常用持出袋の準備をしましょう。
また、新型コロナウイルス感染症が収束していない今時期の自宅外避難には、感染症対策への備えも必要です。
「ごやうごやうまきの避難行動
実際に大雨が予想されるときは、テレビやパソコン、スマートフォンなどで、今後の雨の降り方や警報・注意報など、気象情報を確認しましょう。避難勧告などの情報

2 普段からの意識と備えを Interview

昭和村消防団は、村内各地域に根ざした全10分団で活動しており、地元で災害などの兆候や異変を感じとったらすぐに村と連携をとって対応にあたることになっています。

昭和村は、その地形や歴史から豪雨による水害や土砂災害などの危険性がありますので、村民の皆さんにおかれましては、常に「災害は起こり得るもの」という認識を持っていた

だき日頃から備えてください。また、普段のご近所づきあいを大切に、いざというときには、お隣さんとお互い声を掛け合って避難することも大切です。

**昭和村消防団
金井 真一 団長**
(椽久保北部)

かない・しんいち●平成12年度に昭和村消防団第2分団長。平成28年度から副団長、令和2年度から団長を務める。



は、国が定めた5段階の警戒レベルが目安となります。避難に時間がかかる高齢者の方や妊婦の方などは避難の準備を始めるタイミングが他の人より早くなります。また、崖下や渓流沿いなどにお住まいの方は、土砂災害警戒情報が発表された場合や、雨が降っているのに川の水が減る、川や沢の流れが濁り木が流れてくるといった土砂災害の前触れに注意し、早めに避難してください。

避難の際は、事前に準備した非常用持出袋を持ち、速やかに避難行動をとりましょう。避難所へ行くときは、できるだけ複数人で行動してください。道路に水があふれていると、水の流れに足をすくわれたり、足元が見えにくくなるため、避難所への移動はかえって危険です。その場合は、無理に避難所に向かうのではなく、自宅の2階など高いところに、また、山沿いの家では山とは反対側の2階の部屋などに移動するなど「垂直避難」を行いましょう。

避難所では感染症対策も必要 「3密」対策で県内初となるパーティション組立て訓練を実施

災

害などに伴い、多くの方が避難所に避難すると、避難所で密閉・密集・密接の「3密」状態になり、感染が発生・拡大し複合災害となる可能性が高まります。

そこで村は、一般社団法人群馬県建設業協会(青柳剛会長)の協力で、避難所における「3密」対策と複合災害への備えとして、同協会が開発した段ボール製のパーティション(間仕切り)「KAMIKABE」の、群馬県内初となる

組立訓練を7月9日、昭和村公民館で実施しました。

このパーティションは、このところ頻発している豪雨などで災害避難所を開設する際、避難所内の避難者のプライベート空間を確保するとともに、新型コロナウイルス感染の元となる飛沫と「3密」を防ぎ、なおかつ仮住まいとしての居住性やデザインも重視した設計となっています。組立訓練の開始に先立ち、地元建設会社の石坂建設株式会社(諸田光二社長)から



「KAMIKABE」を寄贈する石坂建設(株) 諸田社長



「KAMIKABE」を組み立てる村職員ら



完成後の「KAMIKABE」内部(協会の吉田さん)

26セットが村に寄贈されました。

この日の組立訓練には、役場職員12人が参加。同協会沼田支部・環境すみずみパトロール隊の吉田美由紀さん(追分、沼田土建株式会社)や関係者による説明で、各パーツの組み立てや居住性の確認を行いました。今回訓練で組み立てた「KAMIKABE」の完成サイズは、縦横2.1メートル、高さ1.5メートル。村も30セットの導入を決定し、寄贈分と合わせて56セットを各避難所に配備する予定です。

避難所にはこのほかにも、避難時に必要となる物資を備蓄しています。

避難所の備蓄物資→
(「KAMIKABE」も配備予定です)



3 村内の主な避難所

避難情報が発令された場合に開設が予定される避難所です。状況によりすべてが開設されない場合があります。村から発信される情報を随時確認してください。

- 永井住民センター(永井地区)
 - 生越スポーツ交流施設(生越地区)
 - 子育て保育園(入原地区)
 - 大河原小学校体育館(中野・大河原・長者久保地区)
 - 南小学校体育館(川額地区)
 - 追分住民センター(追分地区)
 - 社会体育館(森下地区)
 - 赤谷住民センター(赤谷地区)
 - 昭和中学校体育館(椽久保地区)
 - 赤城原区民館(赤城原地区)
 - 昭和村公民館(糸井地区)
 - 松ノ木平第1住民センター(松ノ木平地区)
 - 東小学校体育館(糸井地区)
 - 松ノ木平第2住民センター(松ノ木平地区)
 - 貝野瀬構造改善センター(貝野瀬地区)
- ※開設される避難所を確認してください。

昭和村「集めーる」



村は、防災情報や行事・イベント情報を電子メールで配信するサービスを提供しています。村からの情報を携帯電話などで受け取れるようにして災害に備えましょう。

配信情報

- 火災・災害・避難情報
- 行政からのお知らせ
- イベント情報 など



QRコードを読み取って空メールを送信してください。

昭和村雨量観測システム

村は、台風や豪雨などの災害対策として、村内3か所と県設置の3か所の雨量計を用いて、10分間・1時間の積算雨量と連続雨量を観測しています。

村の避難情報発令の判断のほか、村民の皆さんの自主避難判断などに活用いただけます。

<http://shouwa-staff.tenki.ne.jp>

QRコードを読み取って登録してください。



情報をチェックしよう!

TEPCO速報



東京電力では、停電・雨雲・雷雲・地震などの状況をプッシュ通知するスマートフォン用アプリ「TEPCO速報」を配信しています。

配信情報

- 停電情報
- 雨雲・雷雲情報
- 地震情報
- 災害時マップ



iOS版をダウンロード



Android版をダウンロード

Yahoo!防災速報



村はヤフー株式会社との協定に基づき、スマートフォン用アプリ「Yahoo!防災速報」による配信を行っています。緊急地震速報や避難情報、豪雨予測などをお知らせするサービスです。

配信情報

- 避難やライフライン情報
- 災害時の注意喚起
- 緊急地震速報
- 自治体からの緊急情報



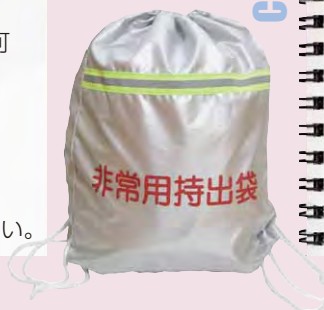
QRコードを読み取ってダウンロードしてください。

5 新型コロナウイルスへの対策

新型コロナウイルス感染症が収束していない状況下での自宅外避難に必要な物です。熱中症に対しても注意と準備が必要です。

- マスク (使い捨て・布)
 - □元が覆える薄手のタオルでも代用可能
- アルコール入りのウェットティッシュ
 - アルコールが入っていないものでも代用可
- 消毒用品 (アルコール・ジェルなど)
- 紙石鹸
- 体温計
- 紙コップ
- ペットボトルに装着可能なストロー

※以上は参考です。状況に応じ準備してください。



4 非常用持出袋の準備

災害時にすぐに避難ができるよう生活に必要な物を1つにまとめ、目立つ場所に保管しておきましょう。

- 飲料水・保存食
- 現金 (小銭多めに)
- 銀行口座の写し
- 車や家の予備鍵
- 保険証・免許証
- 印鑑
- 携帯電話・ラジオ
- モバイルバッテリー
- 笛やブザー
- タオル・着替え
- 懐中電灯
- 救急セット
- 保温アルミシート
- 常備薬・持病薬
- レインコート
- 携帯用トイレ

※以上は参考です。状況に応じ準備してください。